

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（交通施設：スポーツ公園道路新設）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	児湯郡新富町大字三納代						
補助事業の成果の目標	当該路線は、屋外運動場やスタジアムなどのスポーツ施設群の中央を通る道路であり、国道と県道を結ぶ幹線道路となる路線である。また、屋外運動場の整備に伴い周辺の既設町道が廃止となるため、その代替え道路としても地域住民の生活を支える重要な路線である。また、周辺施設の開設に伴い不特定多数の人が訪れることが想定されるため、バリアフリー等の様々な利用パターンを想定した道路整備が望まれている。このため、道路新設工事を行い施設利用者の利便性向上や地域住民の生活基盤整備を図る						
補助事業の内容	道路改良工事 L=540.0m						
補助事業の始期及び終期	令和元年度～令和5年度						
事業費及び交付金額		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額	13,038,215	5,468,557	31,283,669	175,829,525	4,880,000	230,499,966
		13,000,000	4,800,000	30,700,000	169,500,000	4,880,000	222,880,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	事業完了後に利用者及び近隣住民にヒアリングを行った結果、「子供のサッカーの応援の際、道路があって便利が良い」、「立派な道路が整備されて、うれしい」などの意見が寄せられ、施設利用者の利便性向上に寄与し、また地域住民の生活基盤を整備することが出来た。 地域住民への周知については、工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し、事業の周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：成法寺地域排水路）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	児湯郡新富町大字新田						
補助事業の成果の目標	<p>当排水路は、地域住民の生活環境の維持に重要な排水路であるが、排水断面が小さく勾配も緩いため排水が常時滞留しており、臭気や害虫の繁殖など地域住民の生活に支障をきたしている。</p> <p>また、豪雨時には当排水路から住宅地内への溢水や敷地冠水がみられ苦情が寄せられている。このため、排水路整備工事を実施し、排水状況の改善を図るとともに、適切に維持管理を行うことで、地域住民の生活環境の改善及び保全に寄与することを目標とする。</p>						
補助事業の内容	排水路整備工事 L=323.2m						
補助事業の始期及び終期	令和3年度～令和5年度						
事業費及び交付金額		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			計
	事業費	円 8,692,282	円	円 21,040,161	円	円	円 29,732,443
	交付金額	円 8,680,000		円 18,380,000			円 27,060,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>事業完了後に当該排水路の排水状況等の改善を確認しており、また利用者及び近隣住民にヒアリングを行った結果、「排水路に滞留することなく流れ、臭気や害虫がなくなった」、「豪雨時の敷地内への流入や道路の冠水が解消された。」などの意見が寄せられ、地域住民の環境衛生の改善に寄与することが出来た。</p> <p>地域住民への周知については、工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し、事業の周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共施設（環境衛生施設：防犯灯設置工事）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	児湯郡新富町						
補助事業の成果の目標	既設灯のLED防犯灯への取替及び地域住民からの要望を踏まえたLED防犯灯の増設を計画的に進め、町内全域の犯罪や事故を抑止し、安全で安心なまちづくりと住民生活における利便性の向上を図る。						
補助事業の内容	防犯灯新設・取替（新設16箇所 改修46箇所）						
補助事業の始期及び終期	令和5年度						
事業費及び交付金額		令和 5年度					計
	事業費	円 3,546,950	円	円	円	円	円 3,546,950
	交付金額	3,350,000					3,350,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>防犯灯の新設・取替後、夜間における視認性や照度などに問題がないことを現地調査で確認するとともに、近隣住民への聞き取りを行ったところ、新設箇所は「児童・生徒の帰宅時における安全確保に有効である。」という意見が、改修箇所では「以前より明るくなり、夜間歩行の安全が確保され、防犯上も有効」という意見も寄せられ、事業の目標に対する成果が確認できた。</p> <p>地域住民への周知については、鋼管柱に貼付するラベルへの記載や町広報誌(6月号)に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを掲載し住民へ周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（教育文化施設：地区集会所照明器具取替工事）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	児湯郡新富町大字三納代2847番地10ほか12地区						
補助事業の成果の目標	<p>地区集会所は、平成19年度から大規模改修が行われた。照明器具の老朽化に加え、今後、蛍光灯の生産中止が進み電球交換等の維持管理及び施設の快適な利用に支障を来す恐れがある。</p> <p>このため、既存照明灯をLED照明へ取り替えることにより、地区住民が快適に活動できる環境を維持し、省エネに配慮した安全で安心なまちづくりを行うものである。</p>						
補助事業の内容	地区集会所照明器具取替工事 13地区						
補助事業の始期及び終期	令和5年度						
事業費及び交付金額		令和5年度					計
	事業費	円 14,026,658	円	円	円	円	円 14,026,658
	交付金額	14,026,000					14,026,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>既存照明灯をLED照明へ取り替えることにより、地区住民が快適に活動できる環境を維持し、省エネに配慮した安全で安心なまちづくりに貢献できた。また、各地区区長へ照明器具取替に関するアンケートを実施したところ、殆どの地区から「集会所内の明るさが増し、安全に利用しやすくなった」という意見が得られ、事業目標に対する成果が確認できた。</p> <p>周知の実施については、工事期間中の看板に防衛省のエンブレムとともに「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業（防衛省）」である旨を記載した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（教育文化施設：小中学校大型提示装置）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	児湯郡新富町富田東一丁目70番地ほか						
補助事業の成果の目標	本町の各小中学校で未配備となっている教室へ大型電子黒板等のデジタル機器の補充し、ICT環境の充実行ったうえで学校教育の情報化を図るもの。						
補助事業の内容	物件購入 大型提示装置一式(大型ディスプレイ30台、ディスプレイスタンド30台、ユニット型電子黒板6台、書画カメラ15台)						
補助事業の始期及び終期	令和5年度						
事業費及び交付金額		令和5年度					計
	事業費	円 5,808,000	円	円	円	円	円 5,808,000
	交付金額	5,650,000					5,650,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>大型電子黒板等の購入を行い、ICT環境の充実及び学校教育の情報化の向上に大きく寄与できた。</p> <p>各小中学校の教諭等に聞き取り等を実施し、「未配備だった教室にも機器が整備されたおかげで他のクラスとの調整を要することなく、どの教室でもICT機器を使用した授業が可能となった」等の回答があった。また、児童生徒においても「友達の意見が大型ディスプレイで提示され分かりやすかったり、動画での思考の提示や解説が分かりやすかった。」等の意見があり、事業実施の成果を確認できた。</p> <p>周知については、当該機器を特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(防衛省)で整備したことを町ホームページで町民に広く周知し、購入した物品1セットごとにエンブレムの貼り付けを行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（消防に関する施設：第6部消防機械倉庫・解体建築工事）整備整業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	児湯郡新富町大字新田17316-2						
補助事業の成果の目標	第6部消防機械倉庫は、昭和63年（築35年）に建築され、消防団第6部の活動拠点として利用されているが、施設の老朽化により錆びや腐食などが発生するなど不具合が生じている。今回、これらの不具合を解消し、消防防災拠点として地区住民の安心安全を確保するため新築を行う。						
補助事業の内容	消防機械倉庫 木造平屋建 90㎡						
補助事業の始期及び終期	令和5年度						
事業費及び交付金額		令和 5年度					計
	事業費	円 29,550,400	円	円	円	円	円 29,550,400
	交付金額	29,550,000					29,550,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>全体事業完了後、利用する消防団員へアンケート調査を実施し、老朽化に伴う安全性・気密性の低下等の不具合が解消されたことが確認された。</p> <p>また、スペースが広がったことから「消防器具の保管・管理がしやすくなった」等の意見が得られ、利便性についても向上が見られたため、地区住民の安心安全の確保につながったと評価できる。</p> <p>消防機械倉庫の外壁に「特定防衛施設周辺調整交付金事業」で整備した旨を記載し、町広報誌（6月掲載分）に掲載し地域住民に周知した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業：新富町学校教育振興基金)							
補助事業者名	新富町長							
実施場所	児湯郡新富町内全域							
補助事業の目標	外国語指導業務委託による外国語指導助手の巡回、担当教員と連携した少人数指導等教員及び特別支援員を配置することにより、小中学校児童生徒のより良い学校生活と教育環境の充実を図ることを目標とする。							
補助事業の内容	英語教育指導助手派遣業務委託及び非常勤講師・支援員の配置							
補助事業の始期及び終期	令和元年度～令和10年度							
事業費及び交付金額		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	
	事業費	円 0	円 8,472,200	円 42,292,802	円 47,628,848	円 50,753,000	円 149,146,850	
	基金造成額	交付金額	32,000,000	65,000,000	70,000,000	42,862,000	40,000,000	249,862,000
		市町村費	0	0	0	0	0	0
		運用益	0	6,630	15,594	20,677	8,750	51,651
		計	32,000,000	65,006,630	70,015,594	42,882,677	40,008,750	249,913,651
	基金処分額	0	8,472,000	42,292,000	47,628,000	50,753,000	149,145,000	
基金残額	32,000,000	88,534,630	116,258,224	111,512,901	100,768,651			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業によりALT（外国語指導助手）を町内小中学校に派遣し、外国語教育に深い関心を持つ児童生徒が増えた。担当教員と連携した少人数指導等教員及び特別支援員を配置することにより、児童生徒のより良い学校生活と教育環境の充実を図ることができた。また、提出された業務実施報告書により各学校における支援状況を確認した。</p> <p>地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金（防衛省）により実施されている旨を新富町ホームページに掲載し保護者及び町民へ周知を図った。</p>							
事業の改善策及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業：新富町立小中学校施設維持管理基金)							
補助事業者名	新富町長							
実施場所	児湯郡新富町内全域							
補助事業の目的	学校施設の維持管理を一括して行うことにより、教育施設等の充実を図り、安全で快適な学習環境の中で児童生徒が勉強できる環境を作り出すことを目的とする。							
補助事業の内容	学校施設及び通学路の修繕							
補助事業の始期及び終期	令和3年度～令和13年度							
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			計	
	事業費	円 0	円 6,281,616	円 8,576,471	円	円	円 14,858,087	
	基金造成額	交付金額	20,000,000	4,000,000	4,000,000			28,000,000
		市町村費	0	0	0			0
		運用益	0	2,200	700			2,900
		計	20,000,000	4,002,200	4,000,700			28,002,900
	基金処分額	0	5,000,000	7,000,000			12,000,000	
基金残額	20,000,000	19,002,200	16,002,900					
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業により、学校内施設及び通学路灯の維持管理、日々の学校施設等の点検に努めることで、児童生徒の、より安定で快適な学校生活と教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>また各学校への聞き取りにより、快適な学習環境の中で児童生徒が勉強できている、各種修繕に迅速な対応ができていた等の事業目標に対する効果が確認できた。</p> <p>地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛省)により実施されている旨をホームページに掲載し町民へ周知を図った。</p>							
事業の改善策及び今後の対応	なし							
事業の評価に際しての第三者機関の有無	なし							

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業（交通に関する事業：新富町コミュニティバス運営基金）							
補助事業者名	新富町長							
実施場所	児湯郡新富町							
補助事業の成果の目標	<p>新富町においては、路線バスが唯一の公共交通手段であり、高齢者の通院や買い物など住民生活に欠かせないものである。しかしながら、民営路線バスは、各路線の採算性を理由に平成28年度から2路線が減便されており、今後も減便・廃止について検討されることとなっている。</p> <p>このため、新富町コミュニティバス運営基金を設置し、コミュニティバスの運行を継続的かつ安定的に実施することにより、地域の公共交通手段を確保し、交通空白地の解消と地域住民の生活環境の維持を図る。</p> <p>（参考指標） 想定利用者数:1日平均20名以上</p>							
補助事業の内容	新富町コミュニティバスの運営及び車両修理等							
補助事業の始期及び終期	平成25年度～令和10年度							
事業費及び交付金額		令和元年度まで	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	
	事業費	円 28,075,925	円 4,830,275	円 3,786,466	円 4,468,419	円 4,250,050	円 45,411,135	
	基金造成額	交付金額	55,602,000	13,945,000	0	0	10,000,000	79,547,000
		市町村費等	527	0	0	0	0	527
		運用益	41,659	8,045	6,685	7,204	2,019	65,612
		計	55,644,186	13,953,045	6,685	7,204	10,002,019	79,613,139
	基金処分類	28,075,925	4,830,275	3,786,466	4,468,419	4,250,050	45,411,135	
基金残額	27,568,261	36,691,031	32,911,250	28,450,035	34,202,004			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本町における高齢化率は、令和5年度時点で32.1%で全国平均を上回っている状況であり、今後も高齢化率は伸びていき町内で3人に1人が65歳以上の高齢者になると想定されている。その中で、地域公共交通（バス・タクシー）は乗務員不足等の理由により減便・縮小がされ続けており、地域住民にとっての通院・買い物等における移動手段の確保が必須となっている。本基金を活用したコミュニティバスは巡回型として1日8便運行しており、令和5年度は年間利用者数として3,447名が活用し移動手段確保及び回遊性を高めることで地域住民の生活環境の維持に寄与していることが確認できた。</p> <p>地域住民への周知については、車両本体への表示や町ホームページへ掲載することにより特定防衛施設周辺整備調整交付金による基金事業であることを周知した。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	令和6年度には2台体制として運行を開始して、更なる利便性の向上及び継続的な利用促進に取り組んでいく。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業(交通に関する事業:新富町町道維持管理基金)								
補助事業者名	新富町長								
実施場所	児湯郡新富町								
補助事業の成果の目標	新富町は、346路線、全延長約245.6kmの町道の維持管理において、破損個所の修繕等の対応などに時間を要する状況である。 このことから、町道維持管理基金を設置し、通行支障箇所の早期修繕等の体制を整え、継続的かつ安定的に町道の維持管理を行うことで、地域住民の交通安全確保と日常生活での利便性向上に寄与することを目標とする。								
補助事業の内容	町道の維持管理事業								
補助事業の始期及び終期	平成30年度 から 令和9年度								
事業費及び交付金額		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	計	
	事業費	円 0	円 4,288,903	円 5,975,642	円 6,971,425	円 6,061,288	円 9,464,115	円 32,761,373	
	基金 造成 成額	交付金額	26,000,000	0	0	19,274,000	0	0	45,274,000
		市町村費等	0	0	0	0	0	0	0
		運用益	0	8,230	7,544	6,947	8,459	1,461	32,641
		計	26,000,000	8,230	7,544	19,280,947	8,459	1,461	45,306,641
	基金処分類	0	4,288,000	5,975,000	6,971,000	6,061,000	9,464,000	32,759,000	
基金残額	26,000,000	21,720,230	15,752,774	28,062,721	22,010,180	12,547,641			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	通行支障箇所の早期修繕等の体制を整え、町道を維持管理することにより、地域住民の安全の確保、日常生活での利便性向上に寄与し、評価等について地域の代表者などに聞き取りを行ったところ、「前年より維持管理の対応が早く、道路の部分陥没等も早期に改善され車両や軽車両、歩行者の安全が確保された」などの声もきかれ、事業の目標に対する成果を確認することができた。 また、工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し事業の周知をおこなった。								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								